

2025(R7)年度

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-----------------------------|---|----------------|
| ○事業所名 | 小金井市児童発達支援センターきらり（保育所等訪問支援） | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 12月 10日 | | ～ 2026年 1月 19日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 3 | (回答者数) 2 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 12月 10日 | | ～ 2026年 1月 9日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 3 | (回答者数) 3 |
| ○訪問先施設評価実施期間 | 2025年 12月 10日 | | ～ 2026年 1月 19日 |
| ○訪問先施設評価有効回答数 | (対象者数) | 3 | (回答者数) 3 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 2月 27日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 具体的な支援目標を取り上げている。 | 取り組みの手順を具体的にわかりやすく示すようにしている。 | 引き続き、訪問先の先生方の感想やご意見を伺い、継続的な実践となるよう意識していく。 |
| 2 | 保護者との情報共有を大切にしている。 | 訪問先での取り組みの内容だけでなく、家庭での様子も何うなと発達相談としての役割を意識して行っている。 | 集団場面で取り組んだ成果を、家庭でも取り入れられるように報告・助言を行っていく。 |
| 3 | センターとして、他の事業（相談、親子通園、外来訓練、通園、放課後等デイサービス、講演会・学習会等）を実施しており、他の事業からのニーズの把握や、他の事業の案内等がしやすい。 | 支援の様子のほか、今後の必要な支援について保護者と話し合っていく。 | 必要に応じて、センター内の専門相談等にて発達全体について相談する機会を提案する。 |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|--------------------------------------|---|
| 1 | 就学や転園等の節目での支援について検討が必要である。 | 就学や転園の時期に支援を行うことが少なかったため、改めて検討していない。 | 就学に関して必要な情報提供、サポートを整理していく。 |
| 2 | 他の事業所の取り組みなどから学ぶ機会が少ない。 | 事業所数が多くなく、情報も少ない。あまり調べられていないかもしれない。 | 他の事業所の取り組みを調べたり、類似した支援の経験者と話し合うなど学びの機会を設ける。 |
| 3 | | | |

事業所名 小金井市児童発達支援センターきらり

公表日 2026 (R8) 年2月27日

保育所等訪問支援

利用児童数 3人

回収数 2人

| | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|----------|--|----|-----------|-----|-------|-----------------------------|---|
| | | | | | | | |
| 環境・体制整備 | 1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。 | | | | 2 | ・まだ教材を使う段階ではないのかもしれませんが。 | ・訪問先の先生方と話し合い、支援に必要な教材等を準備している場合には、具体的に説明いたします。 |
| | 2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。 | 2 | | | | | |
| | 3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。 | 2 | | | | | |
| | 4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。 | 1 | 1 | | | ・保育園のご都合優先な様子。 | ・訪問先である保育園のご都合を伺いながらの日程調整となっています。 |
| 適切な支援の提供 | 5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。 | 1 | 1 | | | ・安心できる体制です。 | ・訪問支援員が中心に支援を行っていますが、支援内容と経過は児童発達管理責任者とその都度共有しています。 |
| | 6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。 | 2 | | | | ・非常にそう思います。 | |
| | 7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。 | 2 | | | | ・非常に具体的な計画が示されています。 | |
| | 8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。 | 1 | 1 | | | ・担任の先生ともよく話し合い連携してくださっています。 | ・訪問時の様子だけでなく、訪問先の先生方からの情報も踏まえて計画を作成しています。 |
| | 9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。 | 2 | | | | | |
| | 10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。 | 2 | | | | | |
| | 11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。 | 2 | | | | | |
| 保護 | 12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 2 | | | | | |
| | 13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 2 | | | | | |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 2 | | | | | |
| | 15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。 | 2 | | | | ・十分できていると思います。 | |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 2 | | | | ・いつも親身になってくださっています。 | |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|---|--|--|---|--|--|
| 者への説明等 | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 2 | | | | ・非常に共感的に支援してくださっています。 | |
| | 18 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 2 | | | | | |
| | 19 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 2 | | | | | |
| | 20 | 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。 | 2 | | | | | |
| | 21 | 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。 | 2 | | | | ・8と同じです。 | |
| | 22 | 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。 | 2 | | | | ・いつも細かく様子を伝えてくださいます。 | |
| 非常時等の対応 | 23 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 2 | | | | | |
| | 24 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 2 | | | | | |
| | 25 | 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。 | 1 | | | 1 | ・この辺りの話をあまり聞いたことがない気がします。 | ・訪問時に発生した緊急対応は、訪問先施設と協力して対応します。 |
| 満足度 | 26 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 1 | | | 1 | ・安全の確保は勿論してくださっていると思いますが、具体的なことはあまり分かりません。 | ・訪問先の集団場面での観察が中心となっています。安全に関して配慮が必要な点は訪問先施設と共有します。 |
| | 27 | 子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。 | 2 | | | | | |
| | 28 | 事業所の支援に満足していますか。 | 2 | | | | 非常に満足しています。いつもありがとうございます。 | ご協力ありがとうございます。よりよい支援に努めてまいります。 |

事業所名

公表日 2026 (R8) 年2月27日

小金井市児童発達支援センターきらり

利用児童数 3人

回収数 3

保育所等訪問支援

| | チェック項目 | どちらともいえない | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|---|---|-----------|-----|---|--|
| | | はい | いいえ | | |
| 1 | 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。 | 3 | | <ul style="list-style-type: none"> 非常に具体的に配慮点を伝えてくださいます。 とてもわかりやすく課題を一緒に考え合えました。 お子様のことをよく理解してくれているため、説明や助言は適している内容だった。 | <ul style="list-style-type: none"> 分かりやすく、具体的に提案できるよう努めます。 |
| 2 | 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。 | 3 | | <ul style="list-style-type: none"> 参考になるような対応を実際に見せてくださいます。 大変信頼しています。 きらりさんの訪問支援があることで職員の不安や悩みが解消されるので専門家の方のアドバイスはとても助かる。 | <ul style="list-style-type: none"> 集団生活の中での支援について、更に知識や技術を深められるよう、取り組みます。 |
| 3 | 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。 | 3 | | <ul style="list-style-type: none"> とても知識がある方で大変勉強になりました。 丁寧に時間をかけて答えてくれた。フィードバックなどの時間も臨機応変に対応してくれたので職員もとても対応しやすかった。 | <ul style="list-style-type: none"> フィードバック等が有効に、効率的に行えるよう、工夫していきます。 |
| 4 | 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。 | 3 | | <ul style="list-style-type: none"> 目に見えて子どもの成長につながっています。 とても解決に役立ちました。 様々な困りごとにひとつひとつ答えてくれて専門家としての答えと一緒に考えてくれることに感謝した。 | <ul style="list-style-type: none"> 何を目標に取り上げるかを、訪問先の先生方と丁寧に話し合います。 |
| 5 | 事業所からの支援に満足していますか。 | 3 | | <ul style="list-style-type: none"> とても満足しています。 保護者の方の思いなども教えていただくことで共通認識が持てるのでとても助かる。 | <ul style="list-style-type: none"> ご家族と訪問先の先生方、双方で目標や様子を共有できるように努めます。 |

其他のご意見

ご意見を踏まえた対応

・訪問支援の制度を利用させていただいてから児に成長が著しく、園生活がより安心するものになっていると感じています。
 ・担当して下さっている方が都度丁寧に関わってくださることに感謝しております。
 ・一人の子どもにお互いむき合い一緒に考え合えたことが心の支えにもなり他の職員の保育力向上にもなりました。
 ・進級など不安だらけでしたがとても助かる1年でした。
 ・保護者の気持ちの理解にもつながりました。
 ・担当の方の毎回丁寧にに対応して下さることや挨拶、臨機応変な対応に、お子様のこと、園のことを考えてくださることがすごく伝わり、1年間、とても助かり学びにつなげることができました。
 ・とてもお世話になりました。
 ・ありがとうございました。

・先生方よりたくさん情報をいただき、また、具体的な取り組みを話し合うことができ、大変感謝しております。
 ・きらりの職員もたくさん気づきがあります。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

事業所名 小金井市児童発達支援センターきらり

公表日 2026 (R8) 年2月27日

保育所等訪問支援

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など | 課題や改善すべき点 |
|------------------|--|------|-----|--|-------------------------------------|
| 環境・ 体制・ 運営 | 1 訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。 | 100% | 0% | ・必要に応じて行動分析表などを作成し、訪問先施設とともに検討している。 ・必要に応じて具体的な教材を示している。 | ・保護者ともどのような教材を活用しているか具体的に共有するよう努める。 |
| | 2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 100% | 0% | | |
| 業務改善 | 3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 100% | 0% | ・児童発達支援管理責任者、センター長とともに振り返りを行っている。 | |
| | 4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 100% | 0% | | |
| | 5 従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 100% | 0% | | |
| | 6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 100% | 0% | ・保育所等訪問支援としては第三者評価の受審はないが、多機能事業所として第三者評価を受審、また運営協議会で委員からのご意見を伺う機会を設けている。 | |
| | 7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 100% | 0% | ・事業所で設定する研修の他、自己で研修を選ぶ機会を設けている。 | |
| 適切な支援の提供 | 8 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。 | 100% | 0% | | |
| | 9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 100% | 0% | | |
| | 10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。 | 100% | 0% | | |
| | 11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 100% | 0% | | |
| | 12 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 100% | 0% | ・アセスメントの観点を整理して実施している。 | |
| | 13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。 | 100% | 0% | | |
| | 14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 100% | 0% | | |
| | 15 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 100% | 0% | ・事前に話し合える場合には行っている。 | |
| | 16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 100% | 0% | | |
| | 17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。 | 100% | 0% | | |
| | 18 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。 | 100% | 0% | | |
| 関係機関や保護者 | 19 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 100% | 0% | | |
| | 20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 100% | 0% | | |
| | 21 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 100% | 0% | | |
| | 22 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 100% | 0% | | ・今後実施の形を検討していきたい。 |
| | 23 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | 100% | 0% | ・センター内の他事業、他職種の職員と必要に応じて連携している。外部の研修へ参加する機会を作っている。 | |

| | | | | | | |
|--|---------------------------------------|--|------|---------------------------------------|--|---------------------------------------|
| こ の 連 携 | 24 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | 67% | 33% | ・施設長が自立支援協議会へ参加している。 | |
| | 25 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。 | 100% | 0% | | |
| | 26 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 100% | 0% | ・センターで市民向け講演会や保護者学習会を実施し、案内している。 | |
| 保 護 者 等 へ の 説 明 等 | 27 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 100% | 0% | | |
| | 28 | 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。 | 100% | 0% | | |
| | 29 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 100% | 0% | | |
| | 30 | 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。 | 100% | 0% | | |
| | 31 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。 | 100% | 0% | | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。 | 33% | 67% | ・必要に応じて情報提供を行っている。 | ・事業内での保護者交流は想定していないが、後援会や学習会の案内は継続する。 |
| | 33 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 100% | 0% | | |
| | 34 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 100% | 0% | ・センター主催の講演会や学習会など、必要な情報はその都度、案内している。 | |
| 35 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 100% | 0% | | ・チェック体制を強化していきたい。 | |
| 36 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 100% | 0% | ・ことばでのやりとりだけでなく、サインや絵・写真、文字なども活用している。 | | |
| 訪 問 先 施 設 へ の 説 明 等 | 37 | 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。 | 100% | 0% | ・こどもが休みとなり訪問が中止となった場合でも相談は受けられるようにしている。 | |
| | 38 | 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。 | 100% | 0% | | |
| | 39 | 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。 | 100% | 0% | | |
| | 40 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 100% | 0% | | |
| | 41 | 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。 | 100% | 0% | | |
| 非 常 時 等 の 対 応 | 42 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 67% | 33% | ・きりりとしてのマニュアルはある。支援の性質上、訓練はないが、訪問先の訓練には参加している。 | ・きりり内での支援ではないが、安全に関する情報提供をしていく。 |
| | 43 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 100% | 0% | | |
| | 44 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 100% | 0% | | |
| | 45 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 100% | 0% | ・定期的に内容を見直しながら実施している。 | |
| | 46 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 100% | 0% | ・必要な場合には必ず記載する。 | |

| | | | |
|----------------|-------------------------------|----|--------------|
| ○事業所名 | 小金井市児童発達支援センターきらり（放課後等デイサービス） | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 12月 10日 | | 2026年 1月 19日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 49 | (回答者数) 14 |
| ○従業員評価実施期間 | 2025年 12月 10日 | | 2026年 1月 9日 |
| ○従業員評価有効回答数 | (対象者数) | 5 | (回答者数) 4 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 2月 27日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 保護者との情報共有を大切にしている。 | 保護者が送迎を行っており、日頃から情報を共有しやすくなっている。定期的な面談では、保護者が話したい内容を予め確認しておくなど、有意義な面談となりよう、話題を整理しながら実施している。 | 保護者とのお話の中から相談ニーズ把握し、センター内の専門相談や保護者学習会など情報提供を更に丁寧に行っていく。 |
| 2 | センター内に相談支援や児童発達支援、親子通園、外来訓練等に従事している職員がいる。引継ぎ等の連携をしっかりと行っている。 | 支援計画等の文書の引継ぎだけでなく、担当職員と直接話をして引き継いでいる。 | 専門相談を必要に応じて案内する等、さらにセンター機能を活用できるとよい。 |
| 3 | 日々の打ち合わせ、振り返りを丁寧に行っている。 | 多忙な時にも毎回時間を設定している。 | 振り返り時の内容がヒヤリハット等の安全面のみにならないよう、支援についての共有を充実させていく。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 広さや個別スペースの確保が十分でない。 | 広さは指定基準を満たしているものの、個別に対応する場合の個室が専用にはない。 | 新たな部屋を確保することはできないが、可動式の間仕切りや廊下の空いているスペースを活用する等で対応していく。 |
| 2 | ・前年度の反省を受け、早めの周知をして2回目となる「座談会」を実施したが、参加者はあまり多くはならなかった。 | ・参加した保護者からは良い感想を得ているものの、保護者全体がどのような内容を求めているのか、把握しきれていない。 | ・保護者アンケートを行い、ニーズを把握する。 |
| 3 | 職員のケース会議や研修などを計画的に行う。 | センターの主催する研修等を含めると研修機会は多いが、放デイ独自の研修として実施できていない。 | 学校見学や他事業所の見学等を含め、年度当初に年間計画を立てる。 |

事業所名 小金井市児童発達支援センターきらり

公表日 2026 (R8) 年2月27日

放課後等デイサービス

利用児童数 49人

回収数 17人

| | チェック項目 | はい | どちらともいえない | | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|---|---|----|-----------|-----|-------|---|--|
| | | | はい | いいえ | | | |
| 環境・体制整備 | 1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 16 | | 1 | | | ・指定基準以上の広さではありませんが、活動の内容によっては狭く感じられます。廊下も活用しながらスペースを確保しています。 |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 16 | 1 | | | | ・指定基準以上の配置となっています。登所、降所時には受け入れや報告等でお子さんの近くにいる職員が少なくなることがありますので、気をつけて過ごします。 |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 16 | 1 | | | | ・その日の活動予定をわかりやすく示す、見てわかりやすいエリア分けをするなど、環境設定を工夫しながら取り組めます。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。 | 17 | | | | | |
| 適切な支援の提供 | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 17 | | | | | |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 16 | | | 1 | | ・支援プログラムに沿った内容となっています。支援プログラムは連絡アプリの資料室に保存しています。 |
| | 7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 16 | 1 | | | ・息子のことを考えていつも教えて下さいます。 | ・お子さんの理解を更に深めるため、面談や日々の送迎時のやりとりなどから保護者と課題を共有し、支援に活かしていきます。 |
| | 8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 17 | | | | | |
| | 9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 17 | | | | | |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 16 | | | 1 | | ・分かりやすい枠付けを設けながらも、様々な課題を行っています。行事も取り入れています。 |
| 11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 7 | 2 | 2 | 6 | | ・地域の資源を活用する行事等を行っています。交流を目的とした取り組みは行っていません。 | |
| 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 16 | 1 | | | | ・運営規程は玄関内ファイルにて閲覧できます。利用開始時には、利用案内や重要事項説明書等で説明しておりますが、より丁寧な説明に努めます。 | |
| 13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 16 | | | 1 | | ・支援計画にて支援内容と様子を説明しています。面談等でご質問等、十分何うよう配慮します。 | |
| 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 16 | | | 1 | | ・センターとして、ペアレントトレーニングを含めた保護者学習会や市民向け講演会などを実施しています。チラシ等でお知らせしています。 | |
| 15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 17 | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|----------|----|--|----|---|---|----|---------------------------|---|
| 保護者への説明等 | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 17 | | | | ・帰りにおしえてくれるので先生方を信頼しています。 | |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 16 | | | 1 | | ・お子さんとご家族の思いに寄り添った支援となるよう更に心がけていきます。 |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 3 | 3 | 1 | 10 | | ・昨年度より「座談会」を実施していますが、参加人数が少ないため、実施内容を検討します。 |
| | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 14 | 1 | | 2 | | ・日常的な相談は放課後等デイサービスの職員が行い、定期的な面談以外にも必要に応じて相談に対応しています。内容によってはセンターの専門相談をご案内することもあります。 |
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 15 | 1 | | 1 | | ・連絡アプリも活用しながら、保護者と情報共有しています。お子さんとのやりとりでは、ことばだけでなく、絵や写真、文字カードなど様々なツールを活用して意思の疎通を図っています。 |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 15 | 1 | | 1 | | ・毎月の『放課後だより』で活動内容をお知らせしています。業務に関する評価は第三者評価（福ナビのホームページに掲載）と今回の自己評価結果（きらりのホームページに掲載）となります。また、いずれも玄関内に閲覧用ファイルを設置しています。 |
| 非常時等の対応 | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 16 | | | 1 | | ・支援に必要な個人情報については、職員によって取扱う範囲を定めています。日常的な取扱いに関しても十分配慮いたします。 |
| | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 12 | 2 | | 3 | | ・各種については連絡アプリ資料室で閲覧できます。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 16 | 1 | | | | ・各曜日、年間数回、避難訓練を実施しています。事前学習も行い、お子さんの理解を促す取り組みも行っています。 |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 15 | 1 | | 1 | | ・各種マニュアルの取り組みをまとめ、周知します。 |
| 満足度 | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 13 | 2 | | 2 | ・未経験のためわかりかねます。 | ・状況の説明を具体的に十分行うよう、努めます。 |
| | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 17 | | | | | |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 16 | | | 1 | | ・放課後の時間を楽しく過ごせるよう、内容を工夫しながら取り組んでまいります。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 16 | 1 | | | | ・きらりの職員一同、力を合わせ、また、ご家族と連携しながら、お子様の成長を支えてまいります。 |

事業所名 小金井市児童発達支援センター きらり
放課後等デイサービス

公表日 2026 (R8) 年2月27日

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|---------|---|------|-----|--|---|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 100% | 0% | | ・身体を動かす活動の時には少し狭く感じる。 |
| | 2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 100% | 0% | ・利用定員を超えず、適切な職員配置を行っている。 | ・自由時間は適切もしくは余裕があるが、10人全員の集団活動の際には人手が不足すると感じることがある。 |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 100% | 0% | ・部屋に限りはあるが、机やジョイントマットを使用する等、工夫している。 | ・クールダウンのスペースなど、構造化の工夫が必要。トイレが少ない。 ・肢体不自由がある、医療的ケアが必要などの場合には、スペースが不足するかもしれない。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間と | 100% | 0% | ・清掃をしっかりと行い、清潔に努めている。 | ・ホールが広すぎると感じられることがある。可動式の仕切りを活用できるとよい。 |
| | 5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 60% | 40% | ・部屋が限られているものの、空間の環境設定を工夫している。 | ・全体で使用する部屋の他にもう一部屋使用しているが、空間が広すぎたり職員の目が届きにくかったりするため、活用には配慮が必要。 ・クールダウンできるスペースが十分でない。 ・落ちつける部屋があるとよい。 ・個別で使用できる部屋が空いていない可能性もあるため、テントなどがあると良いかもしれない。 |
| 業務改善 | 6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 100% | 0% | | ・目標設定に関して、さらに話し合う時間が取れるとよい。 ・非常勤職員との振り返りの時間が少ないと感じる。 |
| | 7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 100% | 0% | | |
| | 8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 80% | 20% | ・非常勤職員を含めて毎回の振り返りを行っている。 | ・センター内の他の事業に関する事などについても意見が出しやすい環境を作っていけるとよい。 |
| | 9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 100% | 0% | ・第三者評価を毎年度受審し、意向の把握と改善に努めている。 | |
| | 10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 100% | 0% | ・法人や事業所で設定する研修の他、自己で研修を選ぶ機会を設けている。 | ・何の研修を受けたらよいのかなどを確認して研修の年間計画を立てられるとよい。 |
| 適切な支援の提 | 11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 100% | 0% | | |
| | 12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 80% | 20% | ・職員間で子どもの情報を共有し、アセスメントを行っている。 ・センター内の他の事業と情報を共有し、適切なアセスメントに努めている。 | ・子どものニーズが反映されにくい。後期の目標を立てる前に子どもとの面談を設定するなどの工夫があるとよい。 |
| | 13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 100% | 0% | | ・日々の振り返りだけでなく、ケース会議や非常勤職員を含めた話し合いの場が作れるとよい。 |
| | 14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 100% | 0% | | ・共有はできているが支援計画に沿ってその時々での支援について確認できるとよい。 |
| | 15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 80% | 20% | ・アセスメントの観点を整理して、職員間で共有している。 | ・日々の記録を支援計画の目標に沿った形にするなどの工夫があるとよい。 |
| | 16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 100% | 0% | | |
| | 17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 100% | 0% | | |
| | 18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 100% | 0% | ・職員間で分担し、様々な視点が反映されるようにしている。 | |

| | | | | | | |
|--------------|----|---|------|------|--|--|
| 供 | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 80% | 20% | ・小グループを取り入れるなど工夫している。 | ・個別活動という枠づけでの支援計画は作成していないので、意識できるとよい。 ・個別活動の設定は十分にできているといえない。 |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 100% | 0% | | ・支援方法についての話題を深められるとよい。 ・非常勤職員と情報共有しているが、うまく連携できないと感じることもある。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 100% | 0% | | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 100% | 0% | ・記録をする時間の確保が課題であったが、振り返りの時間を活用する等、工夫している。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 100% | 0% | | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 100% | 0% | | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 80% | 20% | ・自由遊びでの遊具や活動内容などを選ぶ機会を設けている。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 100% | 0% | | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 100% | 0% | | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 60% | 40% | ・調べたり、保護者に確認するなどして必要に応じて把握している。 | ・特に行っていない。 |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 80% | 20% | ・保護者を通して情報共有している。 ・センター内の他の事業所と情報を共有している。 | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 80% | 20% | | ・放デイとしては前例がない。 ・小学生対象のため機会がない。 |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 100% | 0% | ・センター内の他の事業や他の職種の職員と必要に応じて情報共有している。 | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 0% | 100% | ・子どもと一緒に活動する機会はないが、地域の資源（公園、お店など）を活用している。 | |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 100% | 0% | ・施設長が委員として参加している。 | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 100% | 0% | | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 100% | 0% | ・センターとして研修機会を複数提供している。 | |
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 100% | 0% | | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 100% | 0% | | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 100% | 0% | | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 100% | 0% | ・毎回の送迎、定期的な面談の他、必要に応じて相談を行っている。 | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機を設ける等の支援をしているか。 | 100% | 0% | ・保護者座談会を実施している。 | ・保護者座談会を実施したが参加者が少なかった。交流する機会の工夫があるとよい。 ・きょうだい同士での交流は行っていない。 |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 100% | 0% | ・苦情に対応する体制を法人として整えている。 | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 100% | 0% | ・毎月おたよりを発行し、予定や活動の様子を発信している。 | |

| | | | | | | |
|---------|----|--|------|-----|---------------------------------------|---------------------------|
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 100% | 0% | | |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 100% | 0% | ・ことばのやりとりだけではなく、絵や写真、文字等を用いる等、配慮している。 | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 40% | 60% | ・行事で地域の資源を活用している。 | ・放デイは行っていない。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 100% | 0% | ・避難訓練（引き取り訓練）は家庭にも周知して行っている。 | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 100% | 0% | | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 100% | 0% | | |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 100% | 0% | | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 100% | 0% | ・安全にするマニュアルを整備している。 | |
| | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 100% | 0% | ・年度のはじめにお知らせを配布し、周知している。 | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 100% | 0% | | ・再発防止に向けての検討時間を今よりもとれと良い。 |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 100% | 0% | ・内容を工夫し、定期的実施している。 | |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 100% | 0% | | |

| | | | |
|----------------|------------------------------|----|---------------|
| ○事業所名 | 小金井市児童発達支援センターきらり（児童発達支援：通園） | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 12月 10日 | | ～ 2026年 1月 9日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 21 | (回答者数) 13 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 12月 10日 | | ～ 2026年 1月 9日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 8 | (回答者数) 8 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 2月 24日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|---|
| 1 | お子さんが安心して通えるように、関わり方や課題設定を工夫している。 | 職員間での情報共有や話し合いを行う他、保護者との連携を大切にしている。 | 保護者との連携をするための電話でのやりとりがなかなかつながらないこともあるため、お互いに目安の時間を決めておくなどの工夫が必要である。 |
| 2 | センター内の職員間で協力し、保護者学習会の充実を図っている。今年度ペアレント・プログラムを開始した。 | 通園で取り組んでいることや日頃配慮していることなどを保護者と共有するような学習会とする。 | 今年度より開始した「ペアレント・プログラム」の開催方法等について、終了後に振り返りを行い、次年度以降に生かす。 |
| 3 | 職員間での情報共有を丁寧に行っている。 | 非常勤職員を含めた打合せ、振り返りを毎回行っている。 | 多忙な中での時間確保となるが、お子さんの登園前の時間も有効に活用する等、工夫を続けていく。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|------------------------------------|---------------------------------|
| 1 | センター全体で様々な事業を実施しているが、通園で使用できる場所は限られ、個別対応できるようなスペースを常設することは難しい。 | 指定基準上、他事業のためのスペースを使用することはできない。 | 引き続き、廊下や間仕切りを活用しながら、必要な環境整備を行う。 |
| 2 | 交流保育の回数を確保することが難しい。 | 早めの日程調整を行っているものの、保育園の予定もあり、難航している。 | 引き続き、早めの調整を行うとともに、交流保育の内容も検討する。 |
| 3 | 安全に関する各種マニュアル等は整備しているが、わかりやすくまとまっていない。 | 内容によっては更新が不十分でになっている。 | 分かりやすくまとめ、周知しやすくする。 |

事業所名 小金井市児童発達支援センター きらり

公表日 2026 (R8) 年2月27日

児童発達支援 (通園)

利用児童数 21人

回収数 13人

| | チェック項目 | はい | どちらともいえない | | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|---|---|----|-----------|-----|-----|---|---|--|
| | | | はい | いいえ | | | | |
| 環境・体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 13 | | | | | | |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 13 | | | | | ・とても手厚くありがたいかぎりです。 | |
| | 3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 11 | 1 | | | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・個室のトイレがあったらいいのと思いました。落ちついてトイレができるように。 ・生活空間は子供に分かりやすく整理されていてとても良いと感じます。ただ、障害特性に応じたバリアフリーかという点においては設備は追いついていない分、肢体不自由の子供のフォローが全て先生方に負担になっていると感じます。 ・子供達の安全、快適に過ごせるようにくふうされています。 | <ul style="list-style-type: none"> ・子ども用に設計されたトイレとなっており、間仕切りは設置されています。昨年度トイレの扉を1か所増設し、扉付きトレイが計2か所となりました ・生活空間や部屋数は限られていますが、引き続き工夫しながら活動の設定をしていきます。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 12 | | | | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・子供達の安全、快適に過ごせるようにくふうされています。 | 引き続き、登園前・登園後の環境整備や清掃を徹底します。活動に合わせた環境設定を行っています。 |
| 適切な支援の提供 | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 13 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・見通し不安があるため、事前学習や視覚支援など受けられて大変良かったです。 ・一人一人を見て支援していただいている | |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 13 | | | | | | |
| | 7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思います | 13 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・毎回丁寧に聞き取りをしていただいで適切な計画を作成していただいています。 | |
| | 8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 13 | | | | | | |
| | 9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 13 | | | | | | |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 12 | 1 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・活動プログラムごとに成長を感じます。 | 見通しを持った生活のために、一日の枠組みは大きく変更しないよう配慮しながら、活動の内容については様々な経験につながるよう、内容を工夫しています。また、行事も経験の幅を広げる機会として設定しています。 |
| 11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。 | 11 | 2 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・他園（けやき保育園）交流はもう少しあったほうがよいと思います。 ・もう少し増えるとなお良いと思います。 ・月に1回等、固定で機会があればと思 | 早めに保育園との日程調整をしておりますが、回数の確保が課題となっております。交流の内容を含め、検討してまいります。 | |
| 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 13 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・とても丁寧に説明していただき、疑問にもすぐ答えていただいています。 | | |
| 13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 13 | | | | | | | |
| 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 12 | 1 | | | | | センターとして様々なテーマで保護者学習会を複数回実施しています。今年度より「ペアレント・プログラム」をスタートしました。 | |
| 15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 13 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・コドモンやお電話で詳しく伝えていただきわかりやすいです。 ・毎回の様子を連絡帳やお電話で伝えていただいています。 | | |

| | | | | | | | | |
|----------|----------------------------|--|----|---|---|---|--|---|
| 保護者への説明等 | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 13 | | | | ・面談以外にもお電話や連絡帳でしていただけます。 | |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 13 | | | | ・よりそっていただけで心強く、とても感謝しています。 | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 8 | 3 | 1 | 1 | ・きょうだい向けイベントは「わからない」です。 ・きょうだいへの支援はわかりませんが、たけのこ会の活動にはご協力いただいております。感謝しています（クリスマス会のプレゼントや卒園の際のメッセージカード等） ・保護者ではPTA（月1回）たけのこ会で集まっています。きらりでの保護者会の開催は場所の確保、先生方の人員確保等を考えると現実的ではないのかな、と思います。PTAで十分交流できているので、全く不満はありません。OBとランチ | 保護者の皆様には、親子交流会や親子遠足、クラス懇談会などで交流の機会を設けています。また、行事のプレイデーでごきょうだいの参加機会を設けるなどの取り組みを行っています。 |
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 12 | 1 | | | ・定期的に電話で様子を報告して下さったり、相談にも乗って下さって感謝しています。 | |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 13 | | | | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 12 | | | 1 | ・コドモンは写真付で活動内容がわかりやすいので（+a）とても良いです。 ・“業務に関する自己評価の結果”が不明。 | 業務に関する評価は第三者評価（福ナビのホームページに掲載）と今回の自己評価結果（きらりのホームページに掲載）となります。また、いずれも玄関内に見覧用ファイルを設置しています。 |
| 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 12 | 1 | | | | 支援に必要な個人情報については、職員によって取扱う範囲を定めています。日常的な取扱いに関しても十分配慮いたします。 | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 13 | | | | | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 13 | | | | ・毎月訓練して下さるので家でも訓練ごっこをしています。 | |
| | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 13 | | | | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 12 | 1 | | | | 状況について具体的な説明を十分に行います。 |
| 満足度 | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 13 | | | | ・こどもは毎日通所を楽しみにしており、親と離れて安心して過ごせる唯一の場所だと思います。親である私たちにとっても信頼し、安心してこどもをあずけることができる場であり、とても感謝しています。 ・「きらり」がとっても大好きです。家 | |
| | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 12 | | | 1 | ・毎日ニコニコで登園しています。先生やお友達が大好きです。土日の休みの日もきらりに行きたいというくらい好きです。 ・楽しい旅行先ですら「きらり」に行き | お子様の様子をご家族と共有することに努め、お子様にとって楽しさを感じられる支援に努めてまいります。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 13 | | | | ・とても満足しています。きらりの先生方、相談員の方、スタッフの方々、本当にプロフェッショナルの方ばかりのすばらしい事業所だと思います。 ・日々、感謝してもしきれません。ありがとうございます。 | きらりの職員一同、力を合わせ、また、ご家族と連携しながら、お子様の成長を支えてまいります。 |

事業所名 小金井市児童発達支援センター きらり

公表日 2026 (R8) 年2月27日

児童発達支援 (通園)

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|----------|---|------|-----|---|--|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 100% | | ・子どもの様子、状況によって柔軟に変えている。 | |
| | 2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 100% | | ・利用定員を遵守し、必要な職員を配置している。 | |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 100% | | ・部屋数に限りはあるものの、間仕切り等を活用し工夫している。 | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 100% | | ・日々の清掃に努めている。 | |
| | 5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 75% | 25% | ・空間に限りはあるが、様々な場を間仕切り等も活用して個別的に使用できるようにしている。 ・個別学習を行う場所が限られているが、時間をずらして使用する工夫をしている。 | ・個別に対応できるスペースが足りない。 ・クールダウンが必要な時に気軽にすぐ使える部屋がない。 |
| 業務改善 | 6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 100% | | ・職員研修等で活用しているフォームでの回答は広く職員が参加しやすい。 | |
| | 7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 100% | | ・行事ごとにアンケートを実施する等、具体的な保護者の意向を把握するよう努め、次回に活かしている。 | |
| | 8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 100% | | ・毎回非常勤職員を含めた振り返りを行い、改善につなげている。 | |
| | 9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 100% | | ・第三者評価を毎年度受審し、意向の把握と改善に活かしている。 | |
| | 10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 100% | | ・法人や事業所で設定する研修の他、センターが地域向け・保護者向けに研修を行っており、参加や資料共有の機会が多くある。 | |
| 適切な支援の提供 | 11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 100% | | | |
| | 12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 100% | | | |
| | 13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 100% | | | |
| | 14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 100% | | ・クラス会議で共有している。 | |
| | 15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 100% | | ・一定のアセスメント項目の他、必要に応じてセンター内の他の事業と連携し、支援に生かしている。 | |
| | 16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 100% | | | ・公表後1年が経過するため、一度見直しができるとうい。 |
| | 17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 100% | | | |
| | 18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 100% | | ・他施設の見学を行ったり、職員間でアイデアを出し合いながらプログラムを立案している。 ・職員間で話し合い、様々な意見を出している。 | ・時折、他のクラスと内容をすり合わせられるとなお良い。 |
| | 19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 100% | | | |
| | 20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 100% | | | |
| | 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 100% | | | |

| | | | | | | |
|--------------|----------|--|---|-----|-----|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 100% | | | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 100% | | | |
| | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 100% | | | |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 100% | | | ・センター内の相談支援専門員等とも情報共有し、必要に応じて連携している。 |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 100% | | | ・移行（転園）の際には、保護者の同意を得た上で引継ぎや見学等を行い、保護者と共有しアフターフォローしている。 ・センター内の他の事業も含めた支援を提案しやすい。 |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 100% | | | ・保護者の同意のもと就学の際には引継ぎや見学等を行い、保護者と共有している。 |
| | 28 | (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資す | 100% | | | ・センター内で市民向け講演会や支援者研修、巡回相談等を実施している。 |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | 100% | | | ・センター内の他の職種（心理士・作業療法士）が支援を観察し、話し合う機会を設けている。常勤職員には自ら研修を選び受講する機会を設けている。 |
| | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | 100% | | | ・施設長が自立支援協議会の委員として、相談支援専門員が様々な協議会等へ参加している。 ・児童発達支援管理責任者や施設長が通所事業所連絡会に参加している。 |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設 | | | | |
| | 保護者への説明等 | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 88% | 13% | ・隣接する保育園との交流機会は多いとは言えないが、年に数回行っている。 |
| 33 | | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 100% | | | |
| 34 | | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 100% | | | ・センターとして様々なテーマで市民向け講演会や保護者学習会を開催し、情報提供している。今年度より「ペアレント・プログラム」を開始している。 |
| 35 | | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 100% | | | |
| 36 | | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 100% | | | |
| 37 | | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 100% | | | |
| 38 | | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 100% | | | ・定期的な面談の他、必要に応じて電話や送迎時の声かけ、不定期の面談を行っている。 |
| 39 | | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 100% | | | ・保護者参加の行事やクラス懇談会などを行っている。 |
| 40 | | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 100% | | | ・きょうだい支援が必要な場合は、実施方法や内容を検討したい。 |
| 41 | | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 100% | | | ・毎月のおたより、ほけんだよりの他、月数回、写真を配信する等、情報発信に努めている。 |

| | | | | | | | |
|---------|----|---|------|-----|--|---|--------------------------------------|
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 100% | | | ・チェック体制はより強化したい。 | |
| | 43 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 100% | | | ・ことばでのやりとりだけでなく、絵や写真、文字、ジェスチャーやサイン等を活用している。 | |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 75% | 25% | | ・地域の資源（公園やお店など）を活用した取り組みを行っている。 | |
| 非常時等の対応 | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 100% | | | ・避難訓練（引き取り訓練）を保護者とともに実施している。 | |
| | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 100% | | | | |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 100% | | | | |
| | 48 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 100% | | | | |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 100% | | | ・安全に関する各種マニュアルを整備している。 | ・安全に関する取り組みをわかりやすくまとめていく必要がある。 |
| | 50 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 100% | | | ・年度のはじめにお知らせするとともに、随時閲覧できるようにしている。 | ・保護者に周知していると思うが、きちんと伝わっているか確認できるとよい。 |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 100% | | | | |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 100% | | | ・内容を変えながら、毎年度実施している。 | |
| | 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 100% | | | | |